

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095101801	科目番号 / Subject code	10951018
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10051_422		
授業科目名 / Subject	ボランティア論 / Problem of Volunteer		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小原 達朗 / Obara Taturou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小原 達朗 / Obara Taturou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小原 達朗 / Obara Taturou		
科目分類 / Class type	教科又は教職に関する科目, 学部共通科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	labo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	252研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2294		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 17:00 ~		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	行政の枠組みを越えた社会活動の新たな力としてボランティアが様々な形で展開してきた。本科目は、このような背景のもとで社会的側面から学校教育や社会人の課題としてボランティアの歴史、形態、方法、実態、精神及び実践論について基礎知識を深める。		
授業到達目標 / Goal	本科目は、ボランティア活動の実践を必ずしも勧めるものではない。「ボランティアとは何か」と授業を終えた段階で自分なりの考え方を持つことができることが、到達目標である。		
授業方法 (学習指導法) / Method	主担当者以外に、外部の社会福祉団体等からの講師を迎えての授業である。講義を主とするが、障害者等に対するコミュニケーションの取り方や子どもへの対応の仕方等の演習・実技を含めた授業を行う。		
授業内容 / Class outline/Con	1. 10月02日 オリエンテーション 2. 10月9日 ボランティアの意味 3. 10月16日 ボランティアの実際 4. 10月23日 福祉とボランティア 5. 10月30日 福祉教育について 6. 11月06日 社会福祉施設でのボランティア 7. 11月13日 介護等体験とボランティア 8. 11月20日 ボランティアのあゆみ 9. 11月27日 聴覚障害者とボランティア 10. 12月04日 視覚障害者とボランティア 11. 12月11日 ボランティアとNPO 12. 12月18日 学校教育とボランティア 13. 12月25日 災害とボランティア 14. 01月08日 ボランティアのこれから 15. 01月22日 質疑応答とまとめ		
キーワード / Key word	ボランティアの意味、歴史、実態、是非		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	毎回の授業で内容に沿ったレジメや資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	ボランティアについての理論、実態、必要性や是非について正しく理解すること。毎回の小レポート(10点×10回分)を合計し、60点以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	ボランティアを勧めるための科目ではありません。ボランティアについて広く深く「考える」科目です。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095175001	科目番号 / Subject code	10951750
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10011_421		
授業科目名 / Subject	教職の理解 / Understanding of the Role of Teacher		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小原 達朗 / Obara Taturou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小原 達朗 / Obara Taturou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小原 達朗 / Obara Taturou, 西川 崇 / TAKASHI NISHIKAWA, 石部 邦昭 / Ishibe Kuniaki		
科目分類 / Class type	教職に関する科目, 教職に関する科目 (第2欄), 教職に関する科目, 学部モジュール科目, 教職免許科目・2欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	labo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部252室		
担当教員TEL / Tel	819-2294		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 17:00 ~ 17:40		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	今日の急激な社会変化の中で、学校教育をめぐる様々な教育課題に適切に対処しつつ充実した教育指導を実現するためには教員の資質向上が必須である。本授業においては、そのような教職の意義についての理解を深め、学校における教師の役割について考察し、その役割を効果的に遂行するために必要な資質について考える。		
授業到達目標 / Goal	教職についての全体像を表明できること。 現代の児童生徒の実態について表明できること。 現代の教育課題について表明し、自ら探究できること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	本授業は、講義、グループワーク、質疑応答形式で行い、随時小レポートにより学びの過程を確認する。		
授業内容 / Class outline/Con	1(4/7) イントロダクション (授業の趣旨・概要の説明) 2(4/14) 現代の子どもの実態 3(4/21) 専門職としての教師 4(4/28) 組織としての学校 5(5/12) 公務員としての教師 6(5/19) シリーズ学校経営の実際 (附属中学校の取組) 7(5/26) シリーズ学校経営の実際 (附属特別支援学校の取組) 8(6/2) シリーズ学校経営の実際 (附属幼稚園の取組) 9(6/9) シリーズ学校経営の実際 (附属小学校の取組) 10(6/16) シリーズ学校経営の実際 (教育行政の取組) 11(6/23) シリーズ教育活動を考える (家庭教育の視点から) 12(6/30) シリーズ教育活動を考える (子ども理解の視点から) 13(7/7) シリーズ新しい教育課題 (特別支援教育の考え方進め方) 14(7/14) シリーズ新しい教育課題 (体験活動の考え方進め方) 15(7/21) 先生になろう (模擬授業・場面指導のロールプレイング)		
キーワード / Key word	教師、専門職、学校経営、教育課題		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜資料を作成し配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教師論、学校経営、教育活動、教育課題の各分野についてレポートを提出。各25点×4分野で100点。 60点以上が合格。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	学ぶ側から指導・支援する立場に思考や視点を180度切り替えるための科目です。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0//1.0
時間割コード / Time schedule code	20151095179801	科目番号 / Subject code	10951798
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10041_042		
授業科目名 / Subject	乳幼児教育論 / Education for Preschool Children		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井口 均 / Inokuti Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	井口 均 / Inokuti Hitoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	井口 均 / Inokuti Hitoshi, 原田 和幸 / Harada Kazuyuki		
科目分類 / Class type	教職に関する科目 (第3欄), カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年 (教育学部全コース生)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hitoshi@		
担当教員研究室/Laboratory	225 (井口)、附属幼稚園 (原田)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2388 (井口)、095-819-2288 (附属幼稚園、原田)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (但し, 事前連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	乳幼児期の子ども理解及び乳幼児教育の課題と方法について基本的理解を深める。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳幼児期の発達の特性について簡単に説明できる</li> <li>2. 乳幼児期に遊びが重要であることの理由を説明できる</li> <li>3. 乳幼児期に育てるべき力とは何かを説明できる</li> <li>4. 幼児の学習能力の驚くべき高さや理由について説明できる</li> <li>5. 乳幼児期の教育・保育の基本的課題を説明できる</li> </ol>		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園の基本</li> <li>2. 幼稚園の生活・保育形態について</li> <li>3. 幼児の心のそだち</li> <li>4. 人間の子どもの誕生時の特徴</li> <li>5. 正誤1年間の赤ちゃんに見られる不思議現象</li> <li>6. 幼児の遊びと学びの姿</li> <li>7. 乳幼児の "かしこさ" とは何かを考える (1)</li> <li>8. 乳幼児の "かしこさ" とは何かを考える (2)</li> </ol>		
キーワード/Key word	乳幼児、発達、遊び、かしこさ、早期教育		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	配布資料、必要に応じて紹介		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小レポート (出欠を兼ねる) 50点, 受講態度10点, 最終レポート40点, 総合評価60%以上で合格。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0//1.0
時間割コード / Time schedule code	20151095195401	科目番号 / Subject code	10951954
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10031_424		
授業科目名 / Subject	障害児教育論 / Education for Children with Disabilities		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 穴山 司 / Anayama Tsukasa, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Class type	教職に関する科目, 教職に関する科目 (第3欄), カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全コース1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuyoshida@nagasaki-u.ac.jp (吉田)		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部本館2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2394 (吉田)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	障害児教育論は、障害のある子どもの特別支援教育に関する専門知識をわかりやすく講義し、あわせて附属特別支援学校での介護等体験実習に必要な事前学習を行うことをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	附属特別支援学校での実習での基礎、及び介護等体験実習に必要な実践的な知識の理解・修得、さらに特別支援教育に関する教育学・心理学・生理病理学に関する理論的基礎知識を理解・修得すること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	附属特別支援学校の校長・教頭、学部の教員による講義を中心に行う。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	介護等体験実習、障害のある子どもの理解と支援		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	茂木俊彦: 障害児教育を考える (岩波新書)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回提出の小レポート、最終レポートを総合して評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	特別支援学校教諭免許の履修を希望する学生には基礎の導入として、希望しない学生には、障害のある子どもへの理解を深めるにおける唯一の機会です。参加観察実習の基礎的位置づけとして積極的に学んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 障害児の教育 (特別支援教育) の現状と課題 (学部教員: 吉田)		
第2回	附属特別支援学校教員 (校長もしくは教頭) の講義 1		
第3回	附属特別支援学校教員 (校長もしくは教頭) の講義 2		
第4回	附属特別支援学校教員 (校長もしくは教頭) の講義 3		
第5回	附属特別支援学校教員 (校長もしくは教頭) の講義 4		
第6回	学部教員 (石川): インクルージョンと特別支援教育 (障害児の教育学領域から)		
第7回	学部教員 (高橋): 障害のある子どもの理解と支援 (障害児の心理学領域から)		
第8回	学部教員 (吉田): 障害のある子どもの理解と支援 (障害児の指導法・心理学領域から) 授業のまとめ (発達障害に関するアセスメント演習を含む)		
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			

第15回	
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095524601	科目番号 / Subject code	10955246
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10081_181		
授業科目名 / Subject	環境教育 / Environmental Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 藤本 登 / Fujimoto Noboru		
科目分類 / Class type	教科又は教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目, 学部共通科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	2	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	学部2, 3, 4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino@nagasaki-u.ac.jp, n-fuji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	本館415室 (星野), 美術・技術棟111室 (藤本)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332 (星野), 095-819-2360 (藤本)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日以外の昼休み (星野), 在室時は常時可 (藤本)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学校教育における環境教育の意義を踏まえた後, 環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え, 具体例として環境要因がどのように環境や人間に影響を与え, 社会がそれをどのように扱って行けば良いのかを自らの調査を基に考え, 発表する。また, ドイツの環境と社会との関わりを多角的に調べ, 日本の環境教育のあるべき姿を探る。環境教育の導入となる科目である。		
授業到達目標/Goal	学校教育における環境教育の意義を述べるようになる。環境と社会と関わりについて, 法的な知識と理解度を高めると共に, 現代社会の中で環境要因が具体的にどのように環境や人間に影響を与え, 社会がそれをどのように扱って行けば良いのかを多角的に調べ, 環境教育のあるべき姿を述べるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	受講者自らが課題を設定し, その課題を解決するために, 教科書, 配布資料, 参考書等で学習するとともに, 課題と課題解決のために学習した内容をレポートとし, 発表する。また, 学習した内容に応じてプレゼンテーションを学生自らが行う。授業中に学習内容の定着度を図る目的で小テストを数回課す。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	環境基本法, 環境基準, 化学物質のリスク, ドイツの環境事情, 環境教育		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書1: 谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会 参考書2: 及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 暮らしの安全科学」共立出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の小テスト, 課題レポート, 発表, 定期考査を行って評価する。評価割合は, 定期考査50%, 授業中の小テスト20%, 課題レポート20%, 発表10%とし, 総合点で評価する。合格基準は, 総合点で60%以上とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	環境教育に興味関心の高い人を望む。		
学生へのメッセージ/Message for students	各回の小テスト作成を真摯に行うこと。学校現場で子どもたちに何を伝え, どういう活動を行なわせる (あるいは自主的な取組みに導く) には何が必要かを念頭に置いて, 授業に取組んで欲しい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーションとイントロダクション。 学校教育と環境教育の違い		
第2回	学校教育と環境教育の違い		
第3回	環境教育の授業構成		
第4回	ESD (持続発展教育)		
第5回	ESD (持続発展教育)		
第6回	オリエンテーションとイントロダクション。授業内で演習プリントを課す。受講者自らが興味を持つ, 環境問題を挙げる課題 (事項と内容) プリントを課す。【課題: 個人レポート】		
第7回	本授業で取り上げる8つのテーマを選定する。テーマごとに班を編成する。テーマ1について, 星野から必須学習事項についてプレゼンテーション (15分程度)。【課題 (A4, 1枚): テーマ1について必須学習事項1つを調べ, かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと, 活動させたいこと。】		

第8回	班ごとにテーマ1について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ2について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ2について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ1の小テスト問題投票】
第9回	班ごとにテーマ2について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ3について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ3について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ2の小テスト問題投票】
第10回	班ごとにテーマ3について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ4について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ4について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ3の小テスト問題投票】
第11回	班ごとにテーマ4について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ5について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ5について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ4の小テスト問題投票】
第12回	班ごとにテーマ5について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ6について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ6について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ5の小テスト問題投票】
第13回	班ごとにテーマ6について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ7について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ7について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ6の小テスト問題投票】
第14回	班ごとにテーマ7について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ8について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ8について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ7の小テスト問題投票】
第15回	班ごとにテーマ8について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。授業のまとめを、一人2分間でプレゼンテーションを行う。【課題：LACS上でテーマ8の小テスト問題投票】
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095530701	科目番号 / Subject code	10955307
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10071_422		
授業科目名 / Subject	国際理解教育論 / Introduction to the Theory of International Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	井手 弘人 / Ide Hiroto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	井手 弘人 / Ide Hiroto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	井手 弘人 / Ide Hiroto		
科目分類 / Class type	教科又は教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	2	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hirottoi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部4階 452室		
担当教員TEL/Tel	095 - 819 - 2316		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日IV~V限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	諸外国の教育や学校の様子を知り、日本と異なっている部分がなぜあるのかについて、社会背景を含めて考えます。 またいくつかの国や地域については詳細に学習し、制度にとどまらず実際の部分についても考え、理解を深めていきます。 同時にこうした学習を通じて、日本の教育の特徴を考えるとともに、日本の中にも言語や文化をめぐる様々な問題があることを知り、解決策を探っていきます。		
授業到達目標/Goal	1. 諸外国の教育や学校の様子や、そうした状況が生み出される背景を理解できる。 2. 日本においても言語や文化をめぐる問題があることを理解できる。 3. これらを踏まえて、日本の教育や学校の特徴を把握し、日本の教育について考えることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式を中心に、適宜活動や討論を含めて授業を進めていきます。授業中に指示する小レポート・アンケート等も、授業の一環として重視します(具体的には各担当教員が説明を行います)。		
授業内容/Class outline/Con	1 オリエンテーション 2 諸外国の教育が共通して抱えている課題 3 同じ目的、異なる方法(教育制度からみえてくるもの) 4 同じ目的、異なる方法(カリキュラムからみえてくるもの) 5 同じ方法、異なる目的(各国の教育実践をめぐって1)新しい教科への対応 6 同じ方法、異なる目的(各国の教育実践をめぐって2)改革への対応 7 海外子女教育の現状と課題 8 在外教育施設派遣制度と現地での教育 9 国際理解教育の実践前提(1) - 東アジアにおける「知」の国家戦略とナショナル・カリキュラムデザイン 10 国際理解教育の実践前提(2) - 「内なる『知』」と「外への『知』」: アイデンティティとコンピテンシー 11 国際理解教育の実践(1) - 歴史教育対話: 初等教育における「エティック」と「イーミック」の取り扱い 12 国際理解教育の実践(2) - 初等教育における「トランスナショナル・リテラシー」の授業デザイン 13 国際理解教育の実践(3) 演習: 総合的な学習の時間「国際理解」を想定したロールプレイ(模擬授業) 14 事例研究(外国の教育を知ること) 15 学生として私たちができること、できないこと		
キーワード/Key word	諸外国の教育、内なる国際化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しません。参考書は授業中に適宜紹介します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中に指示する小レポート、コメント等 80% 最終レポート 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements	特にありません		
学生へのメッセージ/Message for students	あいさつ、掃除、授業風景、掲示物...日常の学校空間での「あたりまえ」ひとつひとつが本当に「あたりまえ」なのか、意識しておきましょう。		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533801	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[子ども理解] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soudan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育実践総合センター (シンフォニー) 1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2297		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日・火曜日の昼休み。基本的には随時。まずはメールにて連絡を		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	子ども理解とは何か。 子どもがどのように理解され、またどのように理解するべきかを教育学・心理学の様々なアプローチ法を知り、知識を深める。		
授業到達目標 / Goal	課題について考察することができる それぞれが探究し答えを提起することができる Selflearningを実践することができる		
授業方法 (学習指導法) / Method	11人の教員が、それぞれに課題を提起する。その中で、学生同士および学生と教員間での討論等により、課題を深化させる。		
授業内容 / Class outline/Con	2班に分けて授業を実施しますので、講義の順番は班によって異なります。  教育と教育学に関わる問題意識の明確化 問題行動等の状況 日本の教育の特徴、言えますか？ 教師の学級指導メッセージに関する研究1 教師の学級指導メッセージに関する研究2 テストは何を評価するのか？ テストは何を評価するのか？ 対人関係と精神的健康1 対人関係と精神的健康2 体験を基盤とした学校内外での子どもの育ち1 体験を基盤とした学校内外での子どもの育ち2 質問紙法の実習1 質問紙法の実習2 学級集団の中で適応に困難を感じている子どもたち1 学級集団の中で適応に困難を感じている子どもたち2		
キーワード / Key word	子ども理解 探究		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜提案する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	配点は、授業に関する小レポート30点、テスト及び課題への取組70点。合格条件は、小レポート60% (18点) 以上で、かつ総合点60点以上。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	子ども理解実践専攻の1年次を対象としたものです。		
学生へのメッセージ / Message for students	子ども理解実践専攻を担当する教員がオムニバス形式で授業を行います。それぞれの専門分野の入り口を覗くよい機会となると思われますので、事前にそれぞれの教員の専門分野を理解しておくことを期待します。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533802	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナール[ICT活用] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	全 炳徳 / Jun Byungdug		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	全 炳徳 / Jun Byungdug		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	全 炳徳 / Jun Byungdug, 中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第2 コンピュータ室 / Room PC2		
対象学生 (クラス等) / Object Student	学校教育教員養成課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	bdjun@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育本館、309号室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2324		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日、10:00 -- 12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本講義は初等教育にかかわる先生たちが、ゼミナールの前にゼミの紹介をするもので、複数の先生たちによるゼミの紹介を行う。それぞれのゼミで行っている内容の紹介が本講義のねらいである。		
授業到達目標 / Goal	三年時から取り組むであろう、希望のゼミの内容が理解できることが到達目標である。		
授業方法 (学習指導法) / Method	複数の先生たちによる授業であるため、各回ごと、それぞれの授業方法がとられる。実践的な講義であったり、座学であったり、野外での実施も想定される。		
授業内容 / Class outline / Con	第1回 ~ 第15回: 担当の先生によるゼミ、および研究内容の紹介		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	担当の教員による提示		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>合格水準</p> <p>次の3点をすべて満たした場合、合格とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席2/3以上</li> <li>・授業中の小課題とレポート全提出</li> <li>・最終課題評価60点以上</li> </ul> <p>評価方法</p> <p>2/3出席し、かつ、授業中の小課題とレポートをすべて提出したもののみが、最終課題に取り組むことができる。判定は課題評価の60点以上を合格とする。</p>		
受講要件 (履修条件) / Requirements	ゼミナールIを三年時に受ける予定の学生		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533803	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナール[教科授業] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第22講義室 / Room 22		
対象学生(クラス等) / Object Student	小学校教育コース(教科授業実践専攻)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-sasano@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部5階 511号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜、3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教員を知り、学生を知るとともに教育学部での学びの導入。		
授業到達目標/Goal	教育学部での学びについて理解することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義に加えて、適宜、演習形式を取り入れる。		
授業内容/Class outline/Con	第1回~第15回 教科授業実践専攻担当教員によるオムニバス形式の授業(毎回、担当教員の専門分野を扱う)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて、適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組みの姿勢</li> <li>・毎回の授業の課題(レポート等を含む)</li> </ul> <p>合格基準</p> <p>。到達目標が達成できているかを上記の方法で総合的に評価する。60点以上が合格。出席は2/3以上。</p>		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(佐々野)		
第2回	家庭(佐々野)		
第3回	家庭(赤崎)		
第4回	国語(平瀬)		
第5回	国語(鈴木)		
第6回	社会(福田)		
第7回	生活(井手)		
第8回	体育(峰松)		
第9回	外国語(中村典)		
第10回	音楽(西田)		
第11回	情報(中村千)		
第12回	情報(倉田)		
第13回	情報(瀬戸崎)		
第14回	まとめ(佐々野)		
第15回	卒論発表会(午前中)参加に代える		
第16回	卒論発表会(午後)参加に代える		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533804	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[多文化理解] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小原 達朗 / Obara Taturou		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小原 達朗 / Obara Taturou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小原 達朗 / Obara Taturou		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生(クラス等) / Object Student	小学校・多文化理解実践専攻・1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	labo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部252室		
担当教員TEL/Tel	819-2294		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日・17:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	小学校教員に必要なプラスアルファの力を付ける。教育の「国際化」や「国際理解教育」といった新しい時代の要請に応えることのできる教員への第一歩を踏み出すための基礎知識や実践力を身につける科目である。		
授業到達目標/Goal	授業づくりの基礎が身についている。多文化理解の基礎を理解している。外国の子どもへの授業など、多文化状況にある教室で授業をすることについて考えることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義とグループ学習を組み合わせる授業づくり等の集団活動をおこなう。学生の希望や状況に応じて方法や内容が変わることがある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	国際理解、伝統文化、学習指導		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業中に適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への取り組み、グループ発表での貢献度などから総合的に判断する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	常に教材となるような物事を見つけようとする視点をもって講義に臨むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	担当教員のテーマ(1)		
第3回	担当教員のテーマ(2)		
第4回	担当教員のテーマ(3)		
第5回	担当教員のテーマ(4)		
第6回	担当教員のテーマ(5)		
第7回	担当教員のテーマ(6)		
第8回	担当教員のテーマ(7)		
第9回	授業づくり中間報告		
第10回	授業づくりに関連する基礎講義(1)		
第11回	授業づくりに関する基礎講義(2)		
第12回	授業づくり(1)		
第13回	授業づくり(2)		
第14回	授業発表会		
第15回	授業発表および好評		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533805	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[芸術感性(音)] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福井 昭史 / Fukui Akifumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	福井 昭史 / Fukui Akifumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	福井 昭史 / Fukui Akifumi		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	音楽専攻		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-fukui@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	音楽棟3階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2342		
担当教員オフィスアワー / Office hours	在室時は常時相談可		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	音楽学習に必要な基本的な語彙を身に付けることが本講義の目的である。		
授業到達目標 / Goal	示された用語を80%以上正確に答えられること。		
授業方法(学習指導法) / Method	本ゼミナルでは、音楽形式、楽曲の様式などに関する基礎的な知識を身に付けることであり、受講生が各々の事項について調べ学習を行い、その発表を行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	音楽		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	課題のテキストを配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	合格水準に到達するまで、音楽用語とその内容等に関する試験を繰り返し実施する。(100%)		
学生へのメッセージ / Message for students	3コマ程度の授業を実施した後で、テストで理解の程度を確認する。理解が不十分な場合は、学習を繰り返し、再テストを行う。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	音楽の形式に関する課題(リート形式、器楽形式に属する各種形式) 1		
第2回	音楽の形式に関する課題(リート形式、器楽形式に属する各種形式) 2		
第3回	西洋の舞曲(中世・ルネッサンスから近代に到る西洋音楽の舞曲、エスタンピー、ブランル、メヌエット、ブーレ、サラバントなど) 1		
第4回	西洋の舞曲(中世・ルネッサンスから近代に到る西洋音楽の舞曲、エスタンピー、ブランル、メヌエット、ブーレ、サラバントなど) 2		
第5回	西洋の舞曲(中世・ルネッサンスから近代に到る西洋音楽の舞曲、エスタンピー、ブランル、メヌエット、ブーレ、サラバントなど) 3		
第6回	舞曲以外の器楽曲の名称(即興曲、間奏曲など) 1		
第7回	舞曲以外の器楽曲の名称(即興曲、間奏曲など) 2		
第8回	舞曲以外の器楽曲の名称(即興曲、間奏曲など) 3		
第9回	舞曲以外の器楽曲の名称(即興曲、間奏曲など) 4		
第10回	声楽曲の名称(賛美歌、リートなど) 1		
第11回	声楽曲の名称(賛美歌、リートなど) 2		
第12回	声楽曲の名称(賛美歌、リートなど) 3		
第13回	ポピュラー音楽や現代の音楽 1		

第14回	ポピュラー音楽や現代の音楽 2
第15回	ポピュラー音楽や現代の音楽 3
第16回	学習のまとめ

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533806	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナール[芸術感性(美)] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 泰 / Nakagawa Tooru, 佐藤 敬助 / Satou Keisuke, 菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki, 針貝 綾 / Harikai Aya, 牧野 一穂 / Kazuho Makino		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	美術・技術教室209-1		
担当教員TEL / Tel	095-819-2351		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月12:10 ~ 12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	これから美術を専攻していく学生のために、美術の枠組みを示し、どのような知識や技能を習得していかなければならないかを提示する		
授業到達目標 / Goal	美術の学び方について説明できる		
授業方法 (学習指導法) / Method	美術科の教員がオムニバスで各領域に関するゼミナールを行う		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	美術		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「美術資料・表現と鑑賞」(秀学社)、その他は必要に応じて適宜指示する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各担当者による試験またはレポートまたは作品50%・各担当者の授業での参加状況50%・各担当者の授業で60点以上(100点満点)かつ出席3分の2以上		
受講要件 (履修条件) / Requirements	幼稚園教育コース芸術的感性開発専攻(美術)に所属する学生		
学生へのメッセージ / Message for students	欠かさず出席すること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	美術科教育領域について(1)		
第2回	美術科教育領域について(2)		
第3回	美術科教育領域について(3)		
第4回	絵画領域について(1)		
第5回	絵画領域について(2)		
第6回	絵画領域について(3)		
第7回	工芸領域について(1)		
第8回	工芸領域について(2)		
第9回	工芸領域について(3)		
第10回	美術理論・美術史領域について(1)		
第11回	美術理論・美術史領域について(2)		
第12回	美術理論・美術史領域について(3)		
第13回	彫刻領域について(1)		
第14回	彫刻領域について(2)		
第15回	彫刻領域について(3)		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533807	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[こども保育] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus			
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小西 祐馬 / Konishi Yuuma		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小西 祐馬 / Konishi Yuuma, 井口 均 / Inokuti Hitoshi, 森野 美央 / Miwo Morino		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第32講義室 / Room 32		
対象学生(クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hitoshi@, konishi@		
担当教員研究室 / Laboratory	225(井口), 224(小西), 226(森野)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2388(井口), 095-819-2328(小西), 095-819-2405(森野)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	1. 身体・運動遊びによる相互交流 2. 保育見学による保育現場の体験		
授業到達目標 / Goal	1. 身体・運動遊びの面白さを実感する 2. 幼稚園・保育園の独自の保育の取り組みを知る 3. 1日の生活の流れを知る 4. 幼稚園・保育園の保育者の仕事内容を知る 5. 自分の体験で感じたこと、考えたことを発表できる		
授業方法(学習指導法) / Method	・ 体験的遊びと職場体験を通じた交流		
授業内容 / Class outline / Con	1. オリエンテーション 2~6. 運動遊び 7. 幼稚園・保育園の制度的基本知識と日課事例 8~14. 保育ボランティア 15・16. 体験発表会		
キーワード / Key word	遊び、幼稚園、保育園		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	遊び演習への参加30点、小レポート20点、ボランティア参加30点、発表20点、総合評価が60%以上で合格。		
受講要件(履修条件) / Requirements	こども保育専攻生であること。		
学生へのメッセージ / Message for students	運動できる服装、上履きの準備。		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533808	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナール[国語] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	勝保 隆 / Katumata Takashi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	勝保 隆 / Katumata Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	勝保 隆 / Katumata Takashi, 前田 桂子 / Keiko Maeda		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館6F演習室6-(6)(国語)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	中学国語一年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	katumata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部653番研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2299		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日放課後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>中学校国語専攻の学生が2年次以降において、スムーズに専門科目に入っていけるように、その準備的な内容の指導助言を行う。</p> <p>前半は、国文学研究の基礎として、古典文学を変体仮名で読解する訓練を主に行う。合わせて、大学の講義を受講するに当たっての必要最低限の知識・手法等を学ぶ。後半は、国語学全般について、必要最低限の知識・手法等を学ぶ。位置づけは、あくまで専門科目への入門科目としてである。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>1, 前半は、変体仮名で書かれたものを、大体読めるようになることが、第一の到達目標である。</p> <p>2, 国文学に関する基本的な知識を身に付けることが、第二の目標である。</p> <p>3, 後半は、国語学に関するごく基本的な知識を身に付けることが、第一の到達目標である。</p> <p>4, 2年次以降の講義等に対処できる準備的能力を身に付けることが、全体的な到達目標である。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>教師による説明指導の後、実際に各自が変体仮名を読んでみて、慣れることが必要である。従って、学習者は、自ら翻字作業を行い、字母と実際の草仮名の対応を理解する必要がある。また、担当分を前に出て発表する形式を取る。</p> <p>国語学分野においても、同様で、人数が少ないので、きめ細やかな対応ができる。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>第1回 勝保担当 国文学分野・ガイダンスと講義</p> <p>第2回 勝保担当 国文学分野講義</p> <p>第3回 勝保担当 国文学分野講義</p> <p>第4回 勝保担当 国文学分野講義</p> <p>第5回 勝保担当 国文学分野講義</p> <p>第6回 勝保担当 国文学分野講義</p> <p>第7回 勝保担当 国文学分野講義</p> <p>第8回 勝保担当 国文学分野講義と試験</p> <p>第9回 前田担当 国語学分野講義</p> <p>第10回 前田担当 国文学分野講義</p> <p>第11回 前田担当 国語学分野講義</p> <p>第12回 前田担当 国語学分野講義</p> <p>第13回 前田担当 国語学分野講義</p> <p>第14回 前田担当 国語学分野講義</p> <p>第15回 前田担当 国語学分野講義と試験</p>		
キーワード/Key word	入門科目 変体仮名 (崩し字 読解 古典文学 国語学)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>プリント対応する。教科書等は使わない。</p> <p>参考書 画引き かな解読字典 (新典社)</p> <p>画引き くずし字解読字典 (新典社)</p> <p>仮名変体集 (新典社)</p> <p>実用変体がな (新典社)</p> <p>くずし字由例辞典 (近藤出版社)</p> <p>くずし字解読辞典 (近藤出版社)</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	2割授業への参加、2割意欲、4割試験、1割応答、1割その他。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	まだ専門的知識を得ていない段階にある段階にあること。。		

学生へのメッセージ/Message for students

基本的、国語科の学生ならば、誰でも理解出来、積極的に楽しみながら出来る作業でもあるので、是非自信を持って取り組んで欲しい。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533809	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナール[数学] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	島袋 修 / Osamu Shimabukuro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	島袋 修 / Osamu Shimabukuro, 北村 右一 / Kitamura Yuichi		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室 / Room 23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	中学校教育コース数学専攻1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shimabukuro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部棟310号室		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	文献の内容を理解し、的確に説明できる能力を身につけてほしい。3, 4年生で行われるゼミナールへの入門でもある。		
授業到達目標 / Goal	代数学、幾何学、解析学に関連する各自の課題に関して、文献の内容を的確に説明できる。教員からの質問に対し十分に答えることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	輪読形式		
授業内容 / Class outline / Con	代数学の基礎的内容、幾何学の基礎的内容、解析学の基礎的内容にあたる文献を講読し口頭発表を行う。 各自が周辺事情を含めた調査を行い、その結果を報告する。毎回の授業ごとに、成果の口頭発表が行われる。  教員は、学生自身の課題発表にたいし、助言をおこなう。		
キーワード / Key word	プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	初回に指示する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の準備をしっかりと行っていること</li> <li>・教材の内容を正確に理解していること</li> <li>・発表時の説明のわかりやすさ</li> <li>・質問に対する答えかたが妥当であること</li> </ul> <p>以上の観点を総合して判断する。合格点は60点。</p>		
受講要件 (履修条件) / Requirements	なし		
学生へのメッセージ / Message for students	いかなる質問にたいしても答えられるよう、十分な準備が必要。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533810	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[音楽] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福井 昭史 / Fukui Akifumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	福井 昭史 / Fukui Akifumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	福井 昭史 / Fukui Akifumi		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	音楽専攻		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-fukui@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2342		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時は常時相談可		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	音楽学習に必要な基本的な語彙を身に付けることが本講義の目的である。		
授業到達目標/Goal	示された用語を80%以上正確に答えられること。		
授業方法(学習指導法)/Method	本ゼミナルでは、音楽形式、楽曲の様式などに関する基礎的な知識を身に付けることであり、受講生が各々の事項について調べ学習を行い、その発表を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	音楽		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	課題のテキストを配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	合格水準に到達するまで、音楽用語とその内容等に関する試験を繰り返し実施する。(100%)		
学生へのメッセージ/Message for students	3コマ程度の授業を実施した後で、テストで理解の程度を確認する。理解が不十分な場合は、学習を繰り返し、再テストを行う。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	音楽の形式に関する課題(リート形式、器楽形式に属する各種形式) 1		
第2回	音楽の形式に関する課題(リート形式、器楽形式に属する各種形式) 2		
第3回	西洋の舞曲(中世・ルネッサンスから近代に到る西洋音楽の舞曲、エスタンピー、ブランル、メヌエット、ブーレ、サラバントなど) 1		
第4回	西洋の舞曲(中世・ルネッサンスから近代に到る西洋音楽の舞曲、エスタンピー、ブランル、メヌエット、ブーレ、サラバントなど) 2		
第5回	西洋の舞曲(中世・ルネッサンスから近代に到る西洋音楽の舞曲、エスタンピー、ブランル、メヌエット、ブーレ、サラバントなど) 3		
第6回	舞曲以外の器楽曲の名称(即興曲、間奏曲など) 1		
第7回	舞曲以外の器楽曲の名称(即興曲、間奏曲など) 2		
第8回	舞曲以外の器楽曲の名称(即興曲、間奏曲など) 3		
第9回	舞曲以外の器楽曲の名称(即興曲、間奏曲など) 4		
第10回	声楽曲の名称(賛美歌、リートなど) 1		
第11回	声楽曲の名称(賛美歌、リートなど) 2		
第12回	声楽曲の名称(賛美歌、リートなど) 3		
第13回	ポピュラー音楽や現代の音楽 1		

第14回	ポピュラー音楽や現代の音楽 2
第15回	ポピュラー音楽や現代の音楽 3
第16回	学習のまとめ

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533811	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[美術] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	佐藤 敬助 / Satou Keisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	佐藤 敬助 / Satou Keisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	佐藤 敬助 / Satou Keisuke, 中川 泰 / Nakagawa Tooru, 菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki, 針貝 綾 / Harikai Aya, 牧野 一穂 / Kazuho Makino		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	美術・技術教室209-1		
担当教員TEL / Tel	095-819-2351		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月12:10 ~ 12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	これから美術を専攻していく学生のために、美術の枠組みを示し、どのような知識や技能を習得していかなければならないかを提示する		
授業到達目標 / Goal	美術の学び方について説明できる		
授業方法 (学習指導法) / Method	美術科の教員がオムニバスで各領域に関するゼミナルを行う		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	美術		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「美術資料・表現と鑑賞」(秀学社)、その他は必要に応じて適宜指示する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各担当者による試験またはレポートまたは作品50%・各担当者の授業での参加状況50%・各担当者の授業で60点以上(100点満点)かつ出席3分の2以上		
受講要件 (履修条件) / Requirements	幼稚園教育コース芸術的感性開発専攻(美術)に所属する学生		
学生へのメッセージ / Message for students	欠かさず出席すること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	美術科教育領域について(1)		
第2回	美術科教育領域について(2)		
第3回	美術科教育領域について(3)		
第4回	絵画領域について(1)		
第5回	絵画領域について(2)		
第6回	絵画領域について(3)		
第7回	工芸領域について(1)		
第8回	工芸領域について(2)		
第9回	工芸領域について(3)		
第10回	美術理論・美術史領域について(1)		
第11回	美術理論・美術史領域について(2)		
第12回	美術理論・美術史領域について(3)		
第13回	彫刻領域について(1)		
第14回	彫刻領域について(2)		
第15回	彫刻領域について(3)		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533812	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[保体] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 浩二 / Koji Takahashi, 小原 達朗 / Obara Taturou, 山内 正毅 / Yamauchi Masaki, 河合史菜 / Fumina Kawai, 峰松 和夫 / Kazuo Minematsu		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F演習室1-(2)		
担当教員研究室/Laboratory	本館 1 1 0 研究室(高橋)		
担当教員TEL/Tel	2 3 5 8 (高橋)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前予約のこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業では, 教員としての実践力を身につけるために, 教育や保健体育教科関連の基本的な事柄を知り, 理解していく上で必要な心構えを学ぶ。授業を通じて, 教育, 体育, 子供, 教師, 学校, 地域等について考え, 議論できるようになる。授業の進行は授業内容にある通りである。		
授業到達目標/Goal	教師としての心構えと教育に対する興味・関心が深まり, それらに対する理解が得られるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	本授業は講義形式で進める。なお, 教科書を使用するほか, 授業内容に関する資料を適宜用意する。また, 担当教員によって発表やレポート等の課題が出される場合がある。		
授業内容/Class outline/Con	以下の項目について保健体育教室に係る教員が担当する。「試験」を除いて順番が前後することもある。 1) 現代社会とスポーツ 2) スポーツの歴史と文化 3) スポーツライフの設計 4) 運動技能の構造と運動の学び方 5) 体ほぐしの意義と体力の高め方 6) 健康の考え方 7) 健康の保持増進と病気の予防 8) 精神の健康と応急手当 9) 生涯の各段階における健康 10) 保健・医療制度と地域の保健及び医療機関の活用 11) 環境及び労働と健康 12) 環境と食品の保健 13) 体育関係の用語の解説 14) 保健関係の用語の解説 15) 専門職としての教師の役割 16) 試験		
キーワード/Key word	学校体育, スポーツ, 体育学, スポーツ科学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「新保健体育(改訂版)」(大修館書店)をテキストにする。 適宜資料も用意する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	理由の如何を問わず5分の4以上の出席を必要とする。授業中の態度やレポート, 成果発表を総合的に評価するが, 期末試験における成績を重視する。期末試験では60%以上の得点が求められる。		
学生へのメッセージ/Message for students	これまでの体験や経験を基に, 学校体育や体育教師に関する話題を提供できるようにすることが重要である。また, ニュースや新聞等に取り上げられている話題をチェックし, 今日の教育問題について議論できるようになることも重要である。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533813	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[家庭] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ガンガ 伸子 / Nganga Nobuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ガンガ 伸子 / Nganga Nobuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ガンガ 伸子 / Nganga Nobuko, 及川 大地 / Oikawa Daichi		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F演習室3-(8)(家庭科)		
対象学生(クラス等) / Object Student	中学校教育コース家庭専攻1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tnobuko@nagasaki-u.ac.jp(ガンガ)		
担当教員研究室/Laboratory	354 (ガンガ)、351 (及川)		
担当教員TEL/Tel	2370(ガンガ)、2375(及川)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前予約のこと		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校家庭科に関する内容の復習と、大学での専門教育への発展のために必要な基礎知識を獲得すること。		
授業到達目標/Goal	高校家庭科の内容をくまなく復習する。 海外の家庭科事情を知り、家政学の視座・視点から国際的な視野を広げる。 大学での専門教育に必要な基礎知識を習得する。		
授業方法(学習指導法)/Method	オムニバス		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	家政学原論、生活経営学、食物学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校家庭科教科書(高等学校で使用したものでよい。ただし、家庭総合も持っていることが望ましい。) 家庭科のカリキュラムの改善に関する研究-諸外国の動向-、国立教育政策研究所 National Standards for Family and Consumer Sciences Education Mc Graw Hill "Discovering Life Skills" (アメリカの家庭科教科書)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<必須要件> 各担当者の授業を2/3以上出席していること。 各担当者が実施するすべての課題(小テスト)を提出していること。 高校家庭科の復習ノートを授業終了後に提示した期日までに提出していること。  評価方法 出席状況 : 前提 課題の達成状況 : 80% ノート(課題) : 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements	中学校教育コース家庭専攻に所属していること。		
学生へのメッセージ/Message for students	資料はLACSに掲載するので、ダウンロードして印刷し、事前に予習しておくこと。詳細は各担当教員が説明する。 授業内容は、都合により順序が入れ替わることもある。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション -家政学を学ぶにあたって-(ガンガ、及川)		
第2回	家政学原論 -家政学の歴史-(ガンガ)		
第3回	家政学原論 -家政学の定義-(ガンガ)		
第4回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容 (ガンガ)		
第5回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容 (ガンガ)		
第6回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容 (ガンガ)		
第7回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容 (ガンガ)		



第8回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容（ガンガ）
第9回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容（及川）
第10回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容（及川）
第11回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容（及川）
第12回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容（及川）
第13回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容（及川）
第14回	諸外国の家庭科スタンダードと専門領域の内容（及川）
第15回	家政学のプロフェッション（及川）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533814	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[社会] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	堀井 健一 / Horii Ken-ichi, 永田 聖二 / Nagata Seiji, 土肥 大次郎 / Dohi Daijiro, 福留 真紀 / Fukutome Maki, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 池谷 和子 / Kazuko Ikeya, 飯塚 知敬 / Iiduka Tomoyoshi		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第33講義室 / Room 33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年中学社会		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	pericles_kh*yahoo.co.jp (*の箇所に@)		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部本館6階611番研究室		
担当教員TEL/Tel	pericles_kh*yahoo.co.jp (*の箇所に@)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日午後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	歴史学, 地理学, 経済学, 法律学, 倫理学, 社会科教育など, 社会科に関連する基礎的な知識を学び, さまざまな角度から社会を考察する方法を会得する。 社会科系の本の内容を適切に要約することができる。		
授業到達目標 / Goal	社会科教育に関連する諸分野の一面を理解する。社会科系の本の要約ができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義形式と演習形式にて行う。 歴史学, 地理学, 経済学, 法律学, 倫理学, 社会科教育など, 社会科に関連する基礎的な知識を習得する。 社会科系の本を読み要約をして発表する。		
授業内容 / Class outline / Con	1 オリエンテーション・外国史の方法 (堀井) 2 外国史の基礎知識 (堀井) 3 社会科教育のアプローチ (土肥) 4 法律学の方法 (池谷) 5 法律学の基礎知識 (池谷) 6 地理学の方法 (大平) 7 地理学の基礎知識 (大平) 8 経済学の方法 (永田) 9 経済学の基礎知識 (永田) 10 日本史の方法 (福留) 11 日本史の基礎知識 (福留) 12 哲学・倫理学の方法 (飯塚) 13 哲学・倫理学の基礎知識 (飯塚) 14 本の要約発表会1 (堀井ほか) 15 本の要約発表会2 (堀井ほか)		
キーワード / Key word	社会科教育とその周辺		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	矢野久美子『ハンナ・アーレント』(中公新書), 老川慶喜『日本鉄道史-幕末・明治編』(中公新書)(あくまで予定である)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各分野の試験またはレポート70点 本の要約発表とレポート30点		
受講要件 (履修条件) / Requirements	2 / 3以上の出席を求める。		
学生へのメッセージ / Message for students	課題図書を中心に社会科教育の周辺の分野の本を読むなどして理解を深めることが有用である。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533815	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[理科] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大庭 伸也 / Shinya Oba		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大庭 伸也 / Shinya Oba		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大庭 伸也 / Shinya Oba, 工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh, 赤羽 良一 / Ryoichi Akaba, 星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 山路 裕昭 / Yamaji Hiroaki, 福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第1 コンピュータ室 / Room PC1		
対象学生 (クラス等) / Object Student	学校教育教員養成課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ooba@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	各教員研究室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業空き時間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	物理, 化学, 生物, 地学, 理科教育の各分野について, 興味・関心を持ち, 基礎的・基本的な知識と理解を獲得するとともに, さまざまな分野の話題について積極的に学ぶ能力と態度を形成する。		
授業到達目標 / Goal	物理, 化学, 生物, 地学, 理科教育の各分野について, 興味・関心を持つことができる。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>各分野の主な内容は以下のとおりである。</p> <p>物理 1 : 物理学への招待 1 . 物理学とは何かについて概説するとともに, 現代物理学の例として, プラズマについて体験する .</p> <p>物理 2 : 物理学への招待 2 . 物理学と数学のかかわりについて考えるとともに, 現代物理学の例として, カオスについて体験する .</p> <p>化学 1 : 日本人のノーベル化学賞受賞研究、化学実験の基礎知識</p> <p>化学 2 : 化学実験の演示と科学的思考</p> <p>化学 3 : 有機化合物の形と性質</p> <p>化学 4 : 自然界と有機化学</p> <p>生物 1 : 群集・行動・保全生態学の研究</p> <p>生物 2 : 衛生害虫、生物教材の開発</p> <p>地学 1 : 地層と岩石の解読法</p> <p>地学 2 : 地球科学研究の最前線</p> <p>地学 3 : 現代の宇宙像</p> <p>地学 4 : 天体を活動させる磁場</p> <p>理科教育 1 : どのような理科授業を受けてきたか。</p> <p>理科教育 2 : どのような理科授業を望むか。</p>		
キーワード / Key word	理科、研究		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜プリントなどを配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各分野について興味・関心を持ち, 基礎的・基本的な知識と理解を獲得し, 積極的に学ぶ能力と態度を形成したかを評価し, 6割以上達成できている場合に合格とする。		
学生へのメッセージ / Message for students	質問等により積極的に授業に参加してもらいたい。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533816	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナール[技術] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	武藤 浩二 / Cosy MUTO		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	武藤 浩二 / Cosy MUTO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 木村 彰孝 / Akitaka Kimura, 藤木 卓 / Takashi Fujiki		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]美術・技術教室1F技術教材開発室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	技術専攻 1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	cosy@<default_value>		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 美術技術教室 206		
担当教員オフィスアワー/Office hours	特に設定しない。随時来室されたい。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	技術科における4年次までの学びの概要を理解するとともに, 大学生活での糧となる内容について, それぞれの教員の専門性の観点から, 授業を行う。		
授業到達目標/Goal	技術科における4年間の学びの概要が説明できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	プレゼンや討論等を含む, 演習的な形式		
授業内容/Class outline/Con	1. オリエンテーション 2. 技術科教育及び情報の観点から 3. 技術科教育及び情報の観点から 4. 環境・エネルギーの観点から 5. 環境・エネルギーの観点から 6. 環境・エネルギーの観点から 7. 電気電子の観点から 8. 電気電子の観点から 9. 電気電子の観点から 10. 木材加工の観点から 11. 木材加工の観点から 12. 木材加工の観点から 13. 栽培の観点から 14. 栽培の観点から 15. まとめ		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各教員から出される授業中の課題等により, 総合的に評価する。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533817	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[英語] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館6F演習室6-(9)		
対象学生(クラス等) / Object Student	学校教育教員養成課程 英語専攻 1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inage@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	6 1 9 研究室 其の他英語専攻教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 16:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語の諸分野について基礎的な知識を習得し、それらについての自分の考えを持ち、適切に表現できるようにする。		
授業到達目標/Goal	各回のテーマについて、十分な知識・理解を得ること。		
授業方法(学習指導法) / Method	各担当教員が授業で指示する。		
授業内容/Class outline/Con	<p>英語についての専門的領域は、主として、英文学、米文学、英語学、英語科教育から成り、各教員が、それぞれの専門分野についてリレー方式で授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アメリカ文学について(1)</li> <li>2. アメリカ文学について(2)</li> <li>3. アメリカ文学について(3)</li> <li>4. イギリス文学について(1)</li> <li>5. イギリス文学について(2)</li> <li>6. イギリス文学について(3)</li> <li>7. 英語科教育について(1)</li> <li>8. 英語科教育について(2)</li> <li>9. 英語科教育について(3)</li> <li>10. 英語学について(1)</li> <li>11. 英語学について(2)</li> <li>12. 英語学について(3)</li> <li>13. 英語教育・異文化理解について(1)</li> <li>14. 英語教育・異文化理解について(2)</li> <li>15. 英語教育・異文化理解について(3)</li> <li>16. まとめ・レポート提出</li> </ol>		
キーワード/Key word	イギリス文学 アメリカ文学 英語学 英語科教育 異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	各教員より、授業中に指示がある。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>授業のねらい及び到達目標の達成度を下記の基準で判定する。</p> <p>合格水準は60%である。</p> <p>授業への積極的貢献 20%</p> <p>レポートの評価 80%</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements	中学校教育コース英語専攻1年次生		
学生へのメッセージ/Message for students	英語についての各専門分野の配布資料を基に、発展的読書に取り組んで下さい。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095533818	科目番号 / Subject code	10955338
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10061_421		
授業科目名 / Subject	専門ゼミナル[特別支援] / Seminar for Freshman		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Class type	教職関連科目, カリキュラム外科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	特別支援教育コース1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuyoshida@nagasaki-u.ac.jp(吉田)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2394(吉田)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	専門ゼミナルは、1年前期の教養セミナーにおける、高校生活での学習スタイル(与えられた勉強・受験のための勉強)から大学生にふさわしい学習スタイル(問題発見・解決型の主体的学び)への転換を踏まえて、特別支援教育コースに入学してきた学生として専門分野に関する主体的能動的学習(見学等の体験学習を含む)を支援し、その成果を発表・共有することをねらいとする。		
授業到達目標/Goal	特別支援教育(障害児教育)に関する各自の興味・関心に基づく主体的な学びとその成果をまとめ、発表できること。		
授業方法(学習指導法)/Method	教員の講話、学習の手引き、各自の課題学習の支援、施設(学校)見学、学習成果の発表会等の多様な形式でゼミを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	主体的学び		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特別支援教育大事典(旬報社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	学習成果発表の発表内容、提出レポートを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
学生へのメッセージ/Message for students	特別支援教育コースでこれから学んでいく専門の入り口です。課題意識を持って取り組んでいきましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 授業の進行(日程確認)、自己紹介、各係の選出・決定		
第2回	図書館案内、専門図書・論文等の情報収集の方法の学習		
第3回	大学で専門分野をいかに学ぶか(教員の講話)		
第4回	大学で専門分野をいかに学ぶか(教員の講話)		
第5回	大学で専門分野をいかに学ぶか(教員の講話)		
第6回	個人の学習課題の確定とグループの決定、冬休みの課題図書(共通)の選定		
第7回	グループ別学習活動		
第8回	グループ別学習活動		
第9回	グループ別学習活動		
第10回	グループ別学習活動 課題図書の配布		
第11回	冬休みの共通課題図書の感想レポート発表会		
第12回	施設・学校見学(センター試験前日の休講日に実施)		
第13回	学習成果発表会		
第14回	学習成果発表会		
第15回	学習成果発表会		
第16回	評価(レポート提出)		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095559801	科目番号 / Subject code	10955598
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10021_412		
授業科目名 / Subject	教育心理学[a班][2015-] / Educational Psychology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原田 純治 / Harada Jiyunji		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	原田 純治 / Harada Jiyunji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	原田 純治 / Harada Jiyunji		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生(クラス等) / Object Student	学校教育教員養成課程 1年次生(a班)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	harada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館 2階(222室)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて問い合わせのこと。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	将来教職に就くものにとって、各教科の指導内容・方法に精通することに加え、教育指導をどのように行うかにあたり児童生徒の心身の発達、学習のメカニズムやその動機づけ、健全なパーソナリティの育成等について基礎・基本となる教育心理学的な知識や基本的な教育的態度の習得は必要とされる。		
授業到達目標/Goal	教育的諸事象を教育心理学の視点から捉え考察することができる。 教育心理学の知見を効果的な指導に役立てる方策について案出することができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	発達、学習、人格と適応、教育評価		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に用いない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1. 授業への貢献度(10%) 質問、講義中の質問への回答など 2. 定期試験(90%)		
学生へのメッセージ/Message for students	確認テストを行うことがある。ノートによる授業の振り返りを毎講義受講後に行うことが要求される。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教育心理学の役割・性質		
第2回	発達 乳幼児期, 児童期		
第3回	発達 青年期		
第4回	学習と指導 学習理論と指導法		
第5回	学習と指導 学習の動機づけ		
第6回	人格と適応 人格の理論		
第7回	人格と適応 パーソナリティと適応		
第8回	人格と適応 人格の測定手法		
第9回	教育評価		
第10回	教師の心理		
第11回	学級集団の心理		
第12回	学級集団の指導		
第13回	教育臨床		
第14回	発達障害		
第15回	学校教育心理学の研究法		
第16回	試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20151095559802	科目番号 / Subject code	10955598
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10021_412		
授業科目名 / Subject	教育心理学[b班][2015-] / Educational Psychology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館1F第11講義室 / Room 11		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taniguti@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部215番研究室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週月曜日14:30 ~ 15:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学校場面における様々な教育的事象を説明する上で有効となる心理学の諸理論について理解すること。		
授業到達目標/Goal	多様な教育実践的諸問題を心理学の視点から捉え考察することができる。心理学の知見を効果的な指導に役立てることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	主として、講義形式(視聴覚教材、心理尺度等の実習教材、プリントを適宜使用)で行う予定にしているが、少人数グループによる事前学習、発表、討論、事後学習などを可能な限り多く取り入れ、アクティブラーニング形式となるようにしたいと考えている。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 教育的諸問題を解決する上で有効となる心理学の諸理論や技法について解説する。本講義では、とりわけ、発達、学習、子どもの理解・指導など、教育実践と密接に関連したトピックを取り上げる。		
キーワード/Key word	教育心理学・発達・学習・学級集団・教育評価		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	精選コンパクト教育心理学 教師になる人のために 北大路書房		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験100% 授業で募集する実験や調査などへの参加による学習、もしくはそれに替わる課題なども評価に加味する。 合格基準は期末試験60%以上		
受講要件(履修条件)/Requirements	受講人数が非常に多く、大教室での講義となるが、講義や発表にきちんと耳を傾け、その内容を正しく理解すること。また、質疑応答にも積極的に参加すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	可能な限りアクティブラーニング形式となるようにしたいと考えているので、学生諸君の積極的な授業参加を期待している。 グループ学習による予習・発表・復習の一連のプロセスでは、教科書はもとより、新聞、インターネット、専門書、学術論文など多くの情報源に当たって、担当内容に関する理解を深めてほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教育心理学の目的・対象・領域		
第2回	教育心理学の研究法・学習法		
第3回	発達と教育		
第4回	認知発達論(1):ピアジェの認知発達段階		
第5回	認知発達論(2):心の理論		
第6回	性格形成		
第7回	社会性と社会的スキルの発達		
第8回	学習の動機づけ(1):内発的動機づけ		
第9回	学習の動機づけ(2):原因帰属		
第10回	学習の認知プロセス(1):記憶のプロセス		



第11回	学習の認知プロセス(2)：効果的学習法
第12回	学級の間関係と教師のリーダーシップ
第13回	心理検査と心理療法
第14回	教育評価の考え方と実際(1)：評価の目的・基準
第15回	教育評価の考え方と実際(2)：評価の対象・方法
第16回	定期試験